

市指定史跡「千葉山」の確認調査について（報告）

市指定史跡「千葉山」の確認調査を下記のとおり実施しますのでご報告します。

1 文化財概要

- (1) 所在地 千葉市稲毛区園生町 444-1 の一部他
- (2) 指定年月日 昭和 56 年 7 月 20 日
- (3) 所有者 金蔵院（稲毛区園生町）
- (4) 史跡概要

『千葉大系図』に記載される、千葉介常胤を葬った「千葉山」とされ、千葉宗家累代の墓所と伝えられる場所である。

現在、稲毛区轟町の大日寺にある 16 基の五輪塔は、かつてこの地にあったとされ、寛文 10(1670)年に千葉村の人々によって大日寺に移されたと伝えられている。

なお、大日寺は震災によって現在の地に移転しており、以前は中央区院内の千葉神社向いにあった。

明治 39(1906)年、安川辰蔵による調査で、星宮塚の他、南北約 180mにわたって直線に並ぶ 13 基の塚が確認され、現在は星宮塚を含む 5 基の塚が残存している。

2 調査に至る経緯

令和 8(2026)年の千葉開府 900 年に向けて、千葉氏に関わる指定史跡である「千葉山」について調査することで、塚の性格や築造時期を把握することを目的として行う。

3 調査の方法

明治39(1906)年調査を基にした塚推定箇所を確認トレンチを設定し調査を行う。トレンチは現地状況（切株）を考慮し、東西方向に設定している。

4 実施予定時期

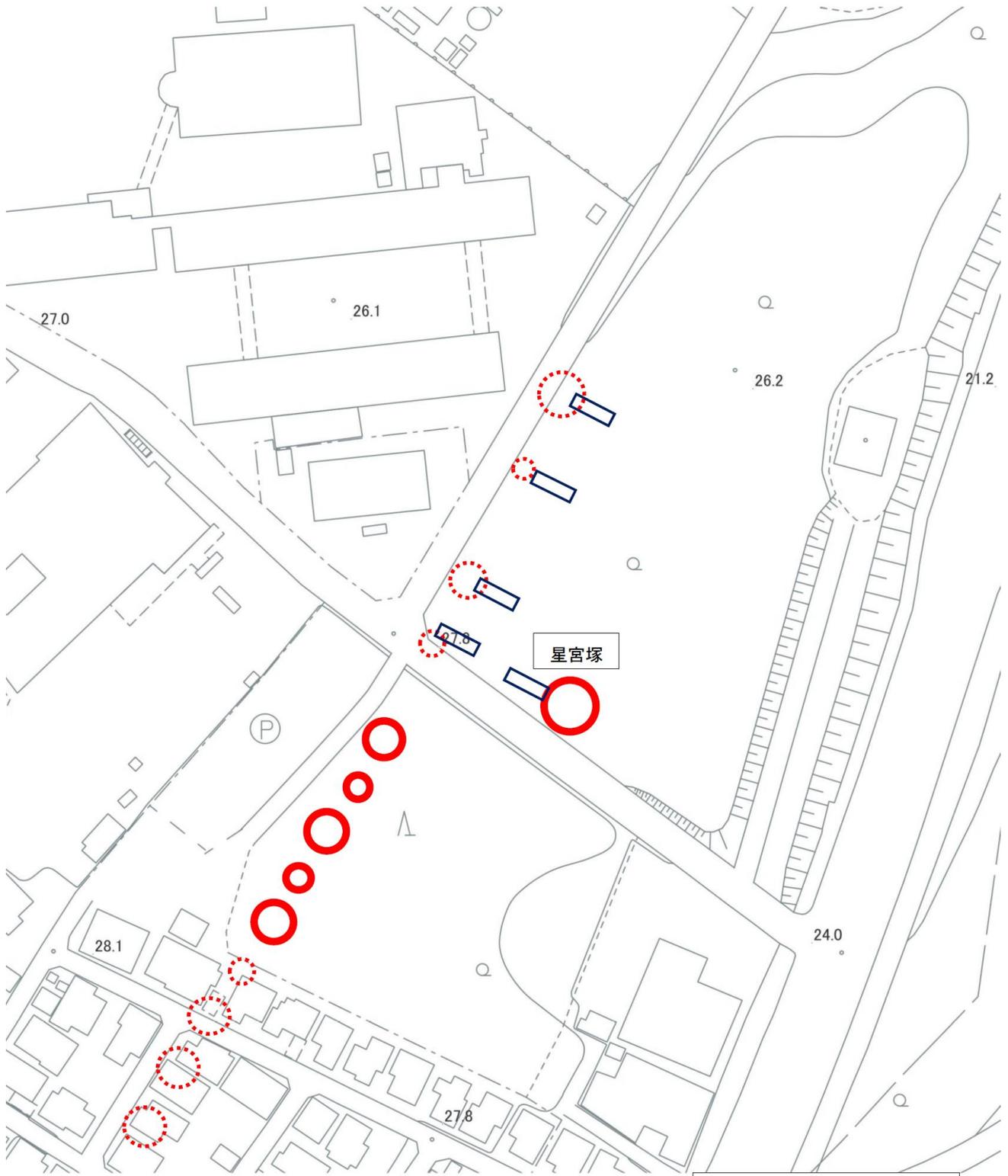
令和 7 年 3 月中旬～下旬



星宮塚 現況（西から）



道路脇トレンチ予定箇所（南から）



千葉山トレンチ予定図
1/1000

- 現存
- 消滅
- トレンチ(2m×10m想定)